

# 沖縄地方の天候

2019年2月と冬（2018年12月～2019年2月）

平成31年3月1日 沖縄気象台

## 【 2月 】

天候経過（月のまとめ）	1
天候経過（旬別）	2
大気の流れ	3
日々の天気図（午前9時）・気象概況	4
地上気象 気象経過図	
那覇・名護・久米島・南大東（南大東島）	6
宮古島・石垣島・西表島・与那国島	7
アメダス（月平均気温・月降水量・月間日照時間）	
分布図	8
極値・順位値更新表（月）	9
生物季節観測表	10

## 【 冬 】

冬の天候	11
冬の大気の流れ	12
沖縄地方の冬（12月～2月）	
の平均気温と降水量の経年変化	13

※本報告は3月1日時点の資料で作成したものです

本件担当：沖縄気象台 地球環境・海洋課  
お問い合わせ先：098-918-4012

## 天 候 経 過 (月のまとめ)

### 【2月】

前線や気圧の谷などの影響で曇りや雨の日が多かった。

平均気温は、全ての地点(気象官署及び特別地域気象観測所)で平年を大幅に上回り、地域平均平年差は+2.8℃とかなり高く、統計を開始した1946年以来、2月としては最も高い値を更新した。那覇、南大東島、宮古島、石垣島、西表島などの多くの地点で月平均気温の高い方からの2月としての極値を更新した。降水量は、名護と南大東島を除く全ての地点(気象官署及び特別地域気象観測所)で平年を上回り、地域平均平年比は153%と多かった。日照時間の地域平均平年比は95%と平年並だった。

**平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級**

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	20.0	+2.9	++	156.5	131	+	78.4	90	0
名 護	19.2	+2.7	++	105.0	83	0	69.4	81	0
久米島	19.7	+2.7	++	258.5	179	+	43.8	57	-
南大東島	20.4	+2.6	++	66.0	71	0	131.5	115	+
宮古島	21.3	+3.0	++	159.0	113	0	92.5	112	0
石垣島	22.2	+3.1	++	190.0	136	+	104.1	127	+
西表島	21.5	+2.6	++	229.0	138	+	73.6	96	0
与那国島	21.3	+2.5	++	323.0	205	++	49.9	87	0
沖縄地方		+2.8	++		153	+		95	0

- (注) 1. 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。  
 ++: かなり高い(かなり多い)、+: 高い(多い)、0: 平年並、  
 -: 低い(少ない)、--: かなり低い(かなり少ない)
2. 「降水量」欄の — は無降水を示す。
3. 沖縄地方の地域平均平年差(比)とは、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点の平年差(比)の平均値を示す。
4. “)”付きの値は準正常値(欠測を含むが許容する資料数を満たす)を意味する。
5. “)”付きの値は資料不足値(欠測を含み許容する資料数を満たさない)を意味する。
6. “X”は欠測を意味する。
7. 表中のデータは気象官署及び特別地域気象観測所における値である。
8. 平年値の統計期間は1981～2010年である。

## 天 候 経 過 (旬別)

### 【2月上旬】

沖縄地方は前線や気圧の谷、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気などの影響で曇りや雨の日が多かったが、日中は高気圧に覆われて晴れる時間帯もあった。

沖縄地方の平均気温はかなり高く、7日は波照間で28.1℃を観測し、日最高気温の高い方からの2月としての極値を更新した。沖縄地方の降水量は多く、5日は沖縄本島地方と先島諸島で大雨となった所があった。沖縄地方の日照時間は多かった。

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	19.4	+3.0	++	42.5	111	+	31.2	112	0
名 護	18.3	+2.6	++	24.5	71	0	27.2	98	0
久米島	19.0	+2.8	++	92.0	207	++	23.0	92	0
南大東島	19.9	+2.7	++	11.5	31	0	54.4	146	+
宮古島	20.9	+3.3	++	41.0	91	0	38.0	134	+
石垣島	21.9	+3.5	++	68.5	147	+	40.6	144	+
西表島	21.2	+3.0	++	66.5	122	+	32.3	126	+
与那国島	21.1	+3.0	++	72.0	158	+	19.7	108	0
沖縄地方		+3.1	++		143	+		118	+

### 【2月中旬】

沖縄地方は前線や気圧の谷、湿った空気などの影響で曇りや雨の日が多く、16日は先島諸島で大雨となった所があった。

沖縄地方の平均気温はかなり高く、19日は志多阿原で28.3℃、20日は波照間で28.5℃を観測するなど、19日から20日にかけて多くの地点で2月としての日最高気温の高い方からの極値を更新した。沖縄地方の降水量は多く、日照時間は平年並だった。

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	20.1	+2.6	++	67.0	133	+	18.3	56	-
名 護	19.4	+2.5	++	40.5	67	0	14.6	44	-
久米島	20.0	+2.6	++	107.0	173	+	6.9	25	--
南大東島	20.4	+2.3	++	2.5	7	-	26.7	63	-
宮古島	21.6	+2.9	++	55.5	107	+	30.2	103	0
石垣島	22.6	+3.2	++	81.5	202	+	37.7	132	+
西表島	22.1	+2.8	++	103.5	190	+	27.7	102	0
与那国島	21.8	+2.6	++	134.0	208	+	22.9	112	+
沖縄地方		+2.8	++		165	+		86	0

### 【2月下旬】

沖縄本島地方と先島諸島は低気圧や前線、湿った空気などの影響で曇りや雨の日が多く、21日は先島諸島で大雨となった所があった。28日は下地で日最大1時間降水量31.0mmを観測し、2月としての極値を更新した。大東島地方は高気圧に覆われて晴れの日が多かった。

沖縄地方の平均気温はかなり高く、降水量は多く、日照時間は平年並だった。

	平均気温 (℃)	平年差 (℃)	階 級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階 級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階 級
那 覇	20.6	+3.0	++	47.0	153	+	28.9	107	0
名 護	20.2	+3.2	++	40.0	126	+	27.6	107	0
久米島	20.0	+2.5	++	59.5	155	+	13.9	56	0
南大東島	21.0	+2.8	++	52.0	246	+	50.4	144	+
宮古島	21.2	+2.5	++	62.5	140	+	24.3	97	0
石垣島	21.9	+2.4	++	40.0	76	0	25.8	101	0
西表島	21.1	+1.8	+	59.0	103	0	13.6	56	-
与那国島	20.8	+1.7	+	117.0	244	++	7.3	39	-
沖縄地方		+2.4	++		154	+		80	0

表の(注)は、前頁と同様

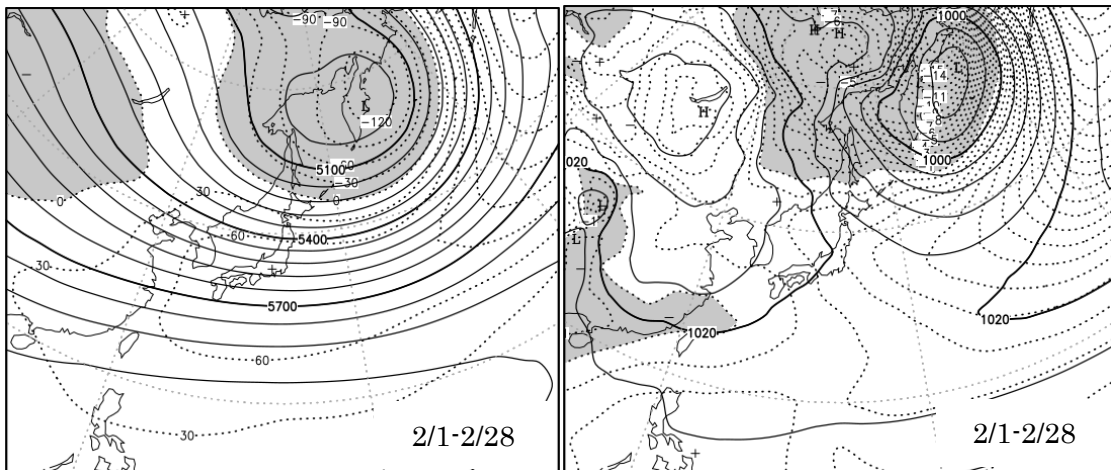
## 大気の流れ

2019年2月

500hPa面の平均高度（左図）は、上空の偏西風が日本付近で北に蛇行し、本州以南では平年より高く、沖縄地方は暖かい空気に覆われやすかった。

平均海面気圧（右図）は、日本付近は平年より高かった。またフィリピン付近でも高気圧が強く、沖縄付近には南からの暖かい空気が流れ込みやすかった。このため、沖縄地方は記録的な高温となった。

なお、偏西風の蛇行や沖縄の南の下層高気圧の強まりには、エルニーニョ現象が関係しているとみられる。

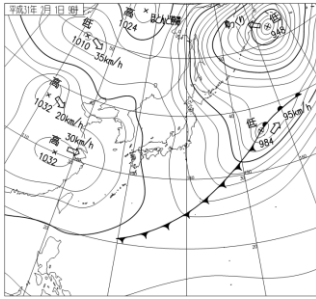


左図 日本付近の500hPa面の平均高度  
等値線の間隔は実況（実線）が60m、  
平年差（破線）が30mである。  
陰影部は高度が平年より低い領域を示す。

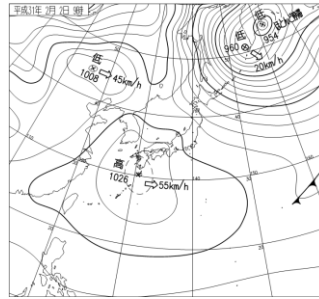
右図 日本付近の平均海面気圧  
等値線の間隔は実況（実線）が4hPa、  
平年差（破線）が1hPaである。  
陰影部は気圧が平年より低い領域を示す。

## 日々の天気図（午前9時）・気象概況

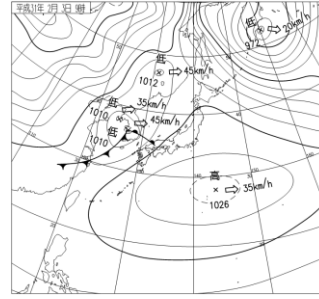
2019年2月1日～2月16日



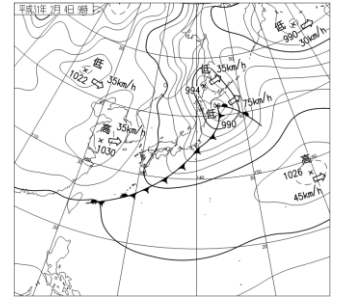
2019年2月1日  
寒気の影響を受ける。



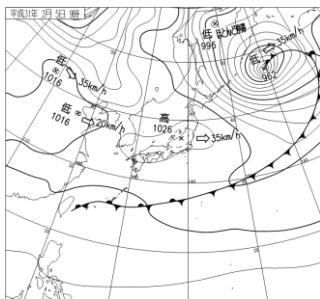
2月2日  
高気圧に覆われる。



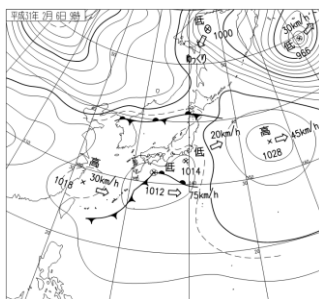
2月3日  
沖縄本島地方、大東島地方、宮古島地方は高気圧に覆われる。八重山地方は湿った空気の影響を受ける。



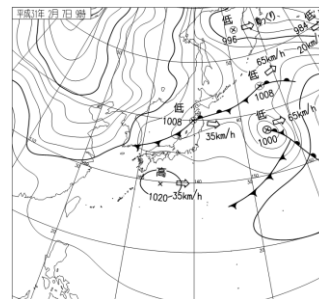
2月4日  
沖縄本島地方と先島諸島は前線の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



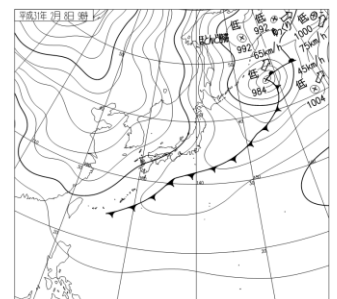
2月5日  
前線や低気圧の影響を受ける。



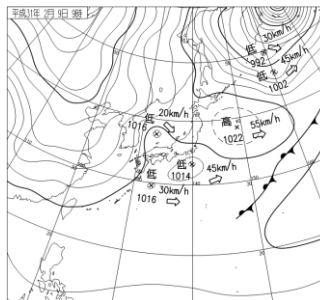
2月6日  
沖縄本島地方と大東島地方は前線の影響を受ける。先島諸島は高気圧に覆われる。



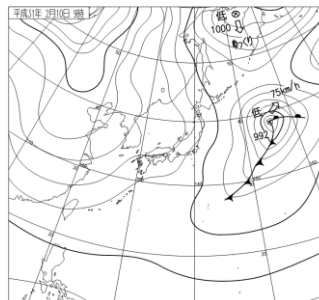
2月7日  
沖縄本島地方と先島諸島は気圧の谷や湿った空気の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



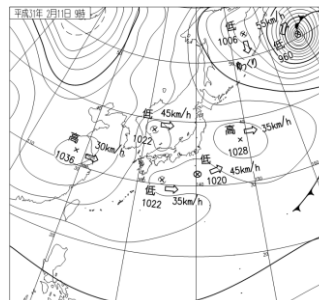
2月8日  
前線の影響を受ける。



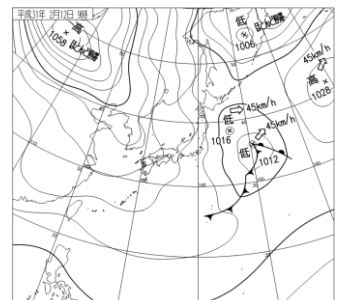
2月9日  
高気圧のへりにあたる。



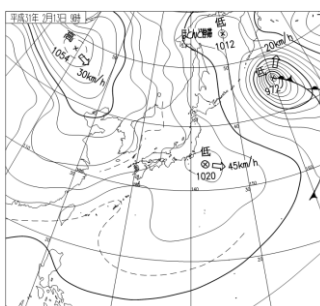
2月10日  
寒気の影響を受ける。



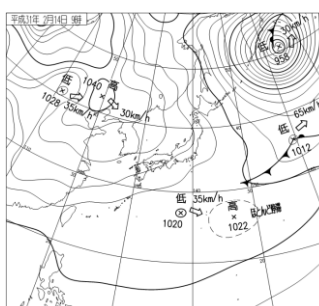
2月11日  
湿った空気の影響を受ける。



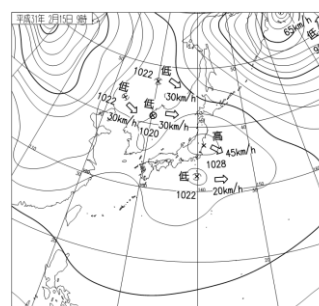
2月12日  
気圧の谷や湿った空気の影響を受ける。



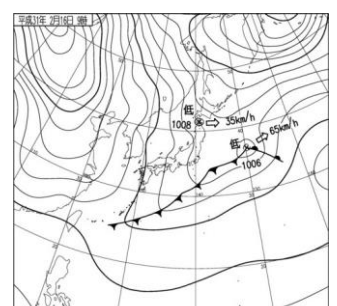
2月13日  
気圧の谷や湿った空気の影響を受ける。



2月14日  
沖縄本島地方と先島諸島は気圧の谷や湿った空気の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



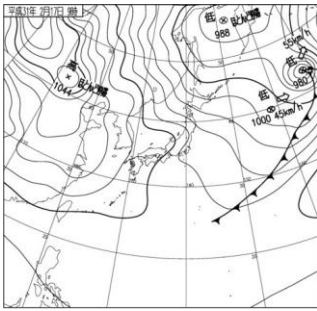
2月15日  
前線や気圧の谷の影響を受ける。



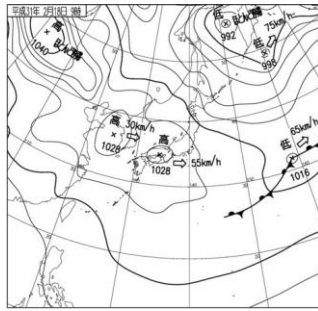
2月16日  
前線や寒気の影響を受ける。

日々の天気図（午前9時）・気象概況

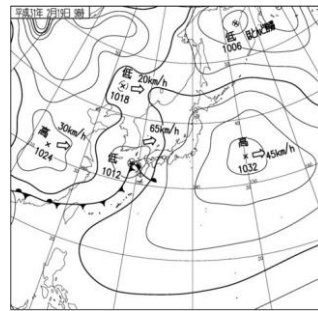
2019年2月17日～2月28日



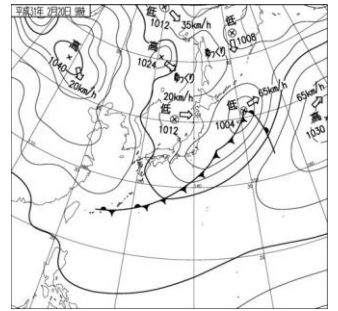
2月17日  
寒気の影響を受ける。



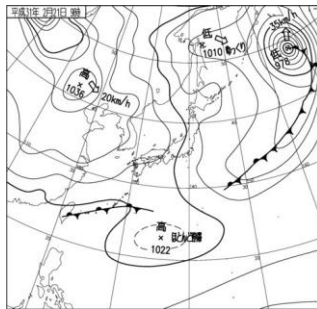
2月18日  
前線や気圧の谷の影響を受ける。



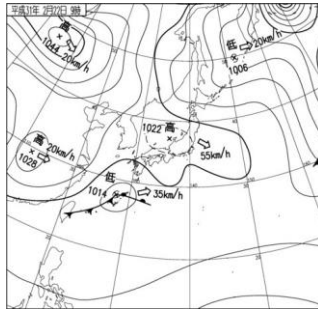
2月19日  
沖縄本島地方と先島諸島は前線の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



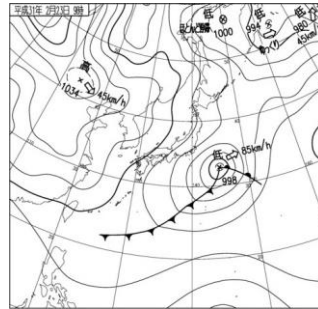
2月20日  
沖縄本島地方と大東島地方は前線や気圧の谷の影響を受ける。先島諸島は高気圧に覆われる。



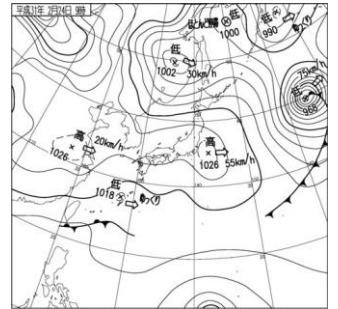
2月21日  
沖縄本島地方と先島諸島は前線や湿った空気の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



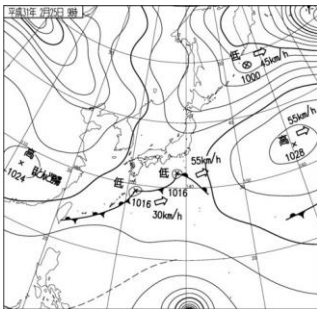
2月22日  
沖縄本島地方と先島諸島は低気圧や前線の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



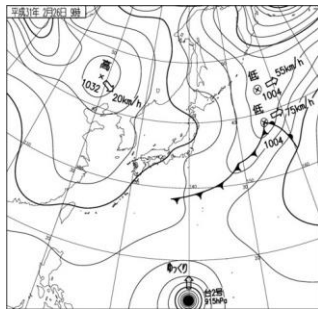
2月23日  
沖縄本島地方と先島諸島は寒気や湿った空気の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。



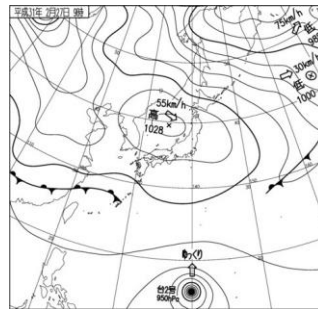
2月24日  
低気圧や前線の影響を受ける。



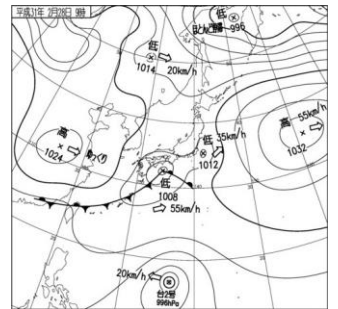
2月25日  
前線の影響を受ける。



2月26日  
沖縄本島地方と大東島地方は高気圧に覆われる。先島諸島は湿った空気の影響を受ける。



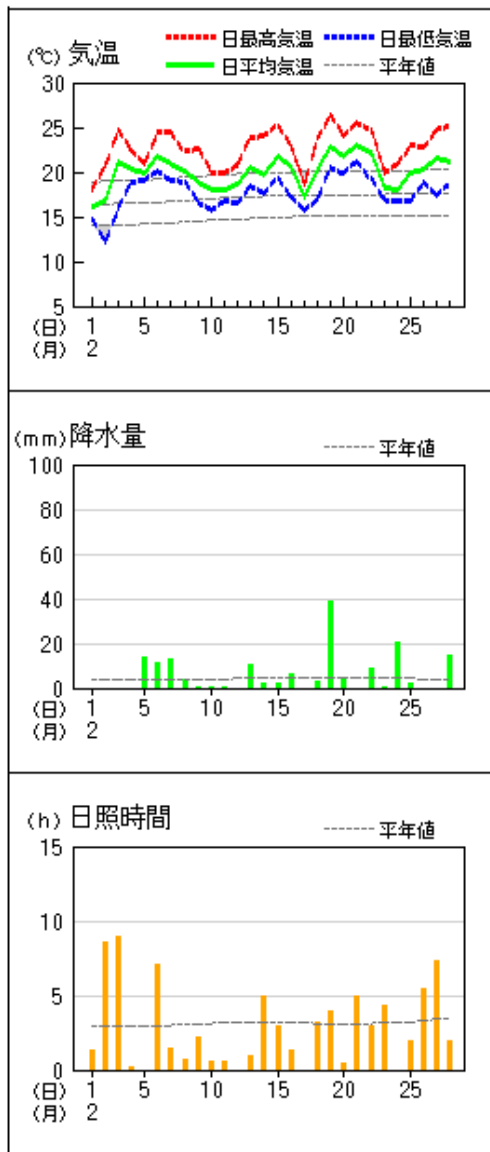
2月27日  
高気圧に覆われる。



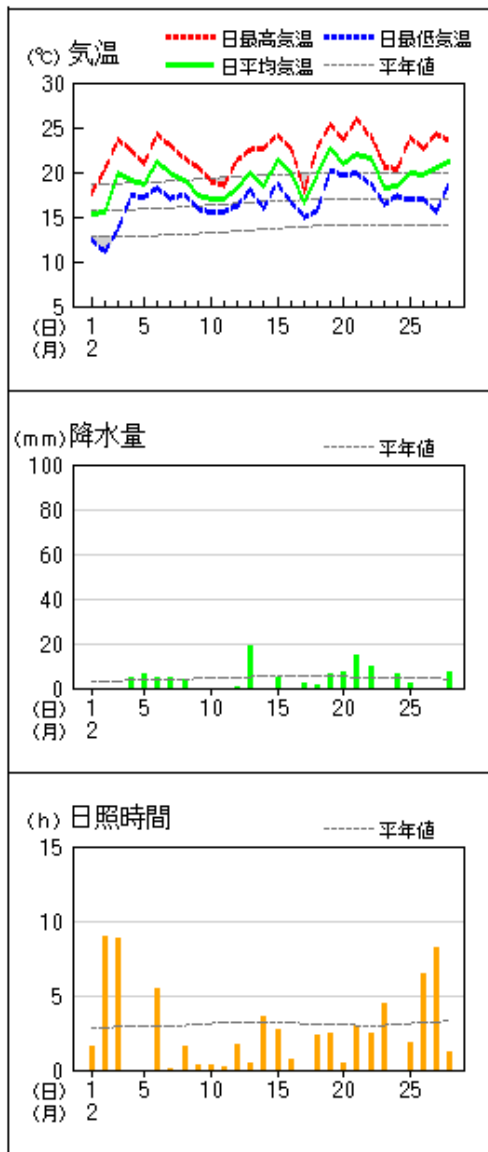
2月28日  
沖縄本島地方と先島諸島は前線の影響を受ける。大東島地方は高気圧に覆われる。

地上気象 気象経過図：2019年02月01日-2019年02月28日

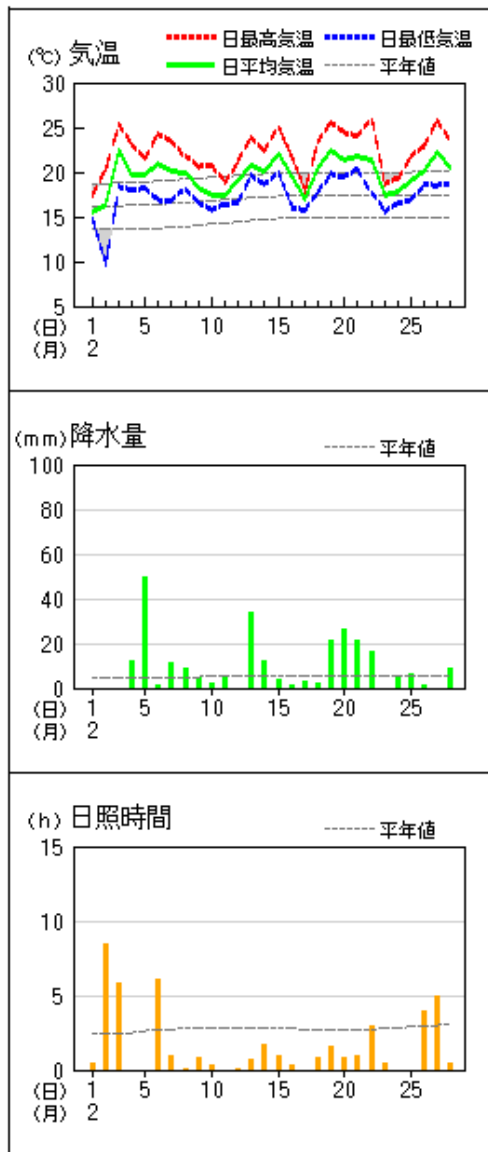
那覇



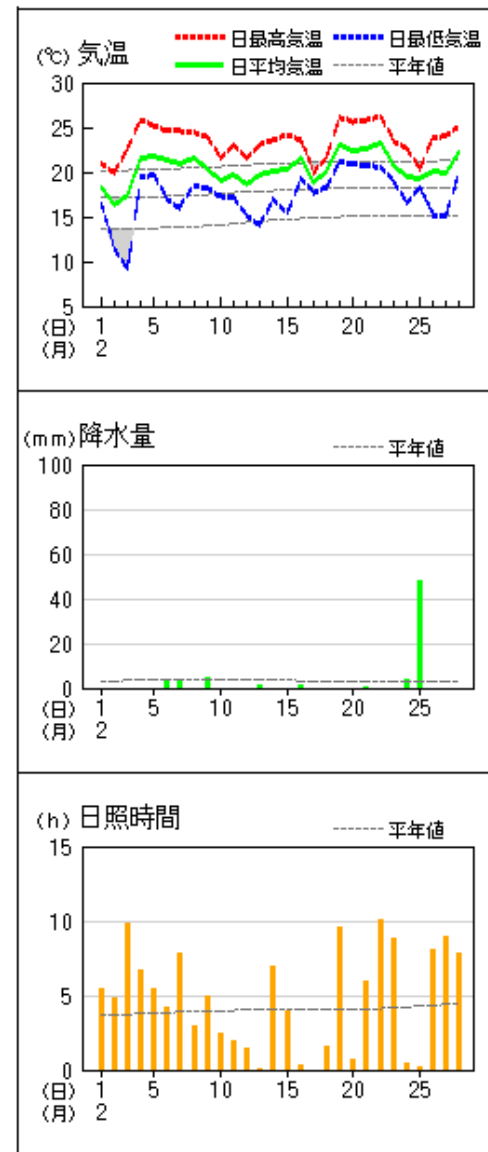
名護



久米島

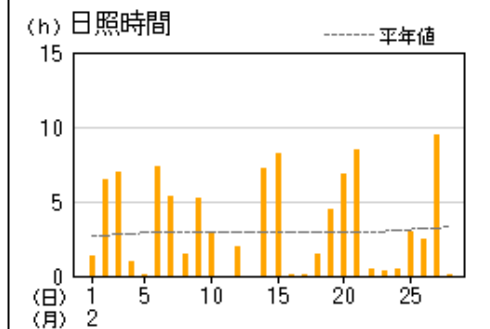
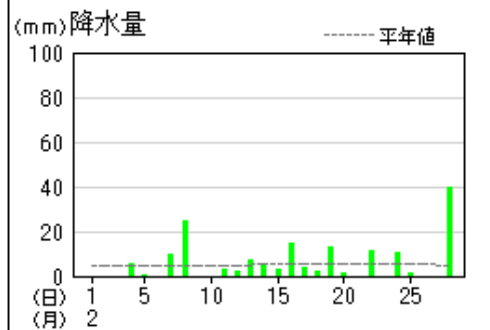
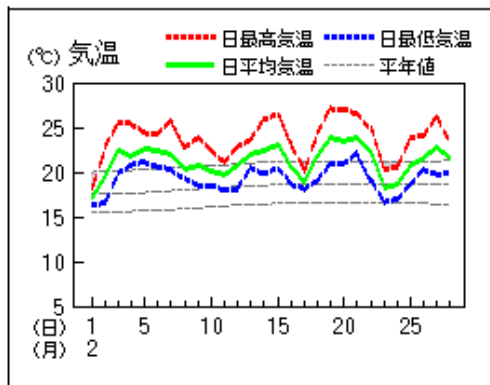


南大東（南大東島）

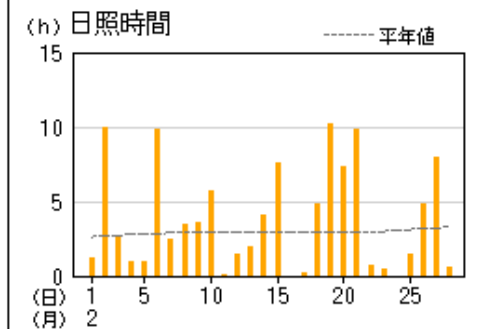
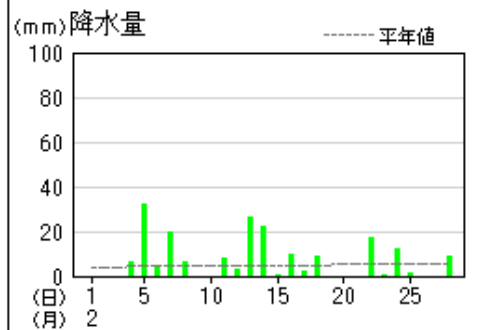
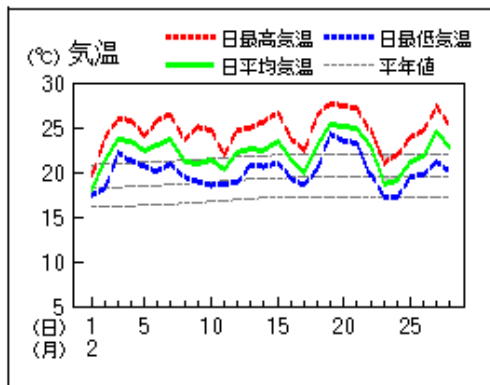


地上気象 気象経過図：2019年02月01日-2019年02月28日

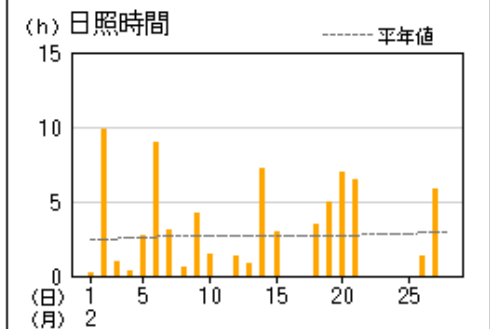
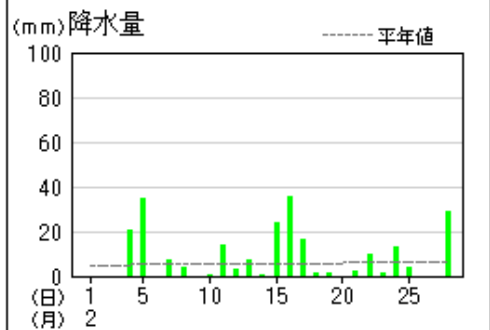
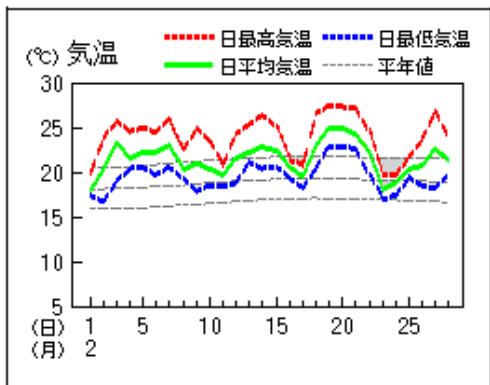
宮古島



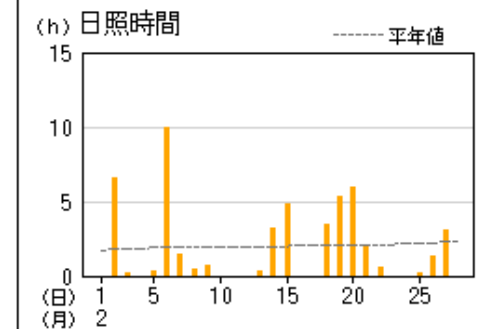
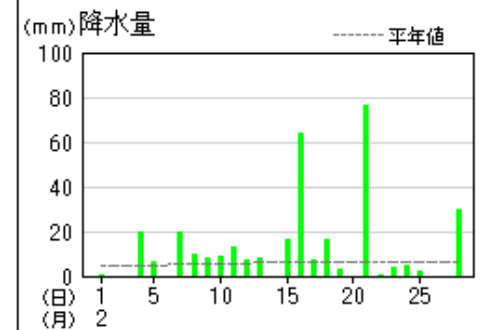
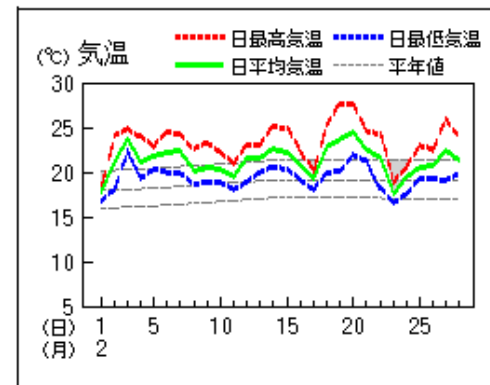
石垣島



西表島

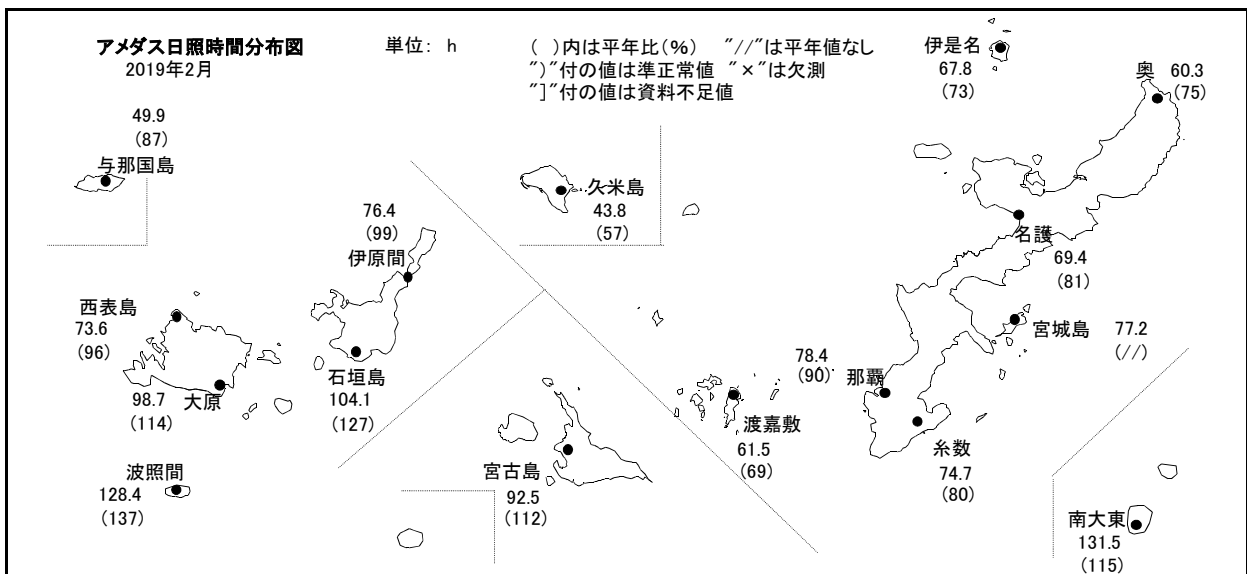
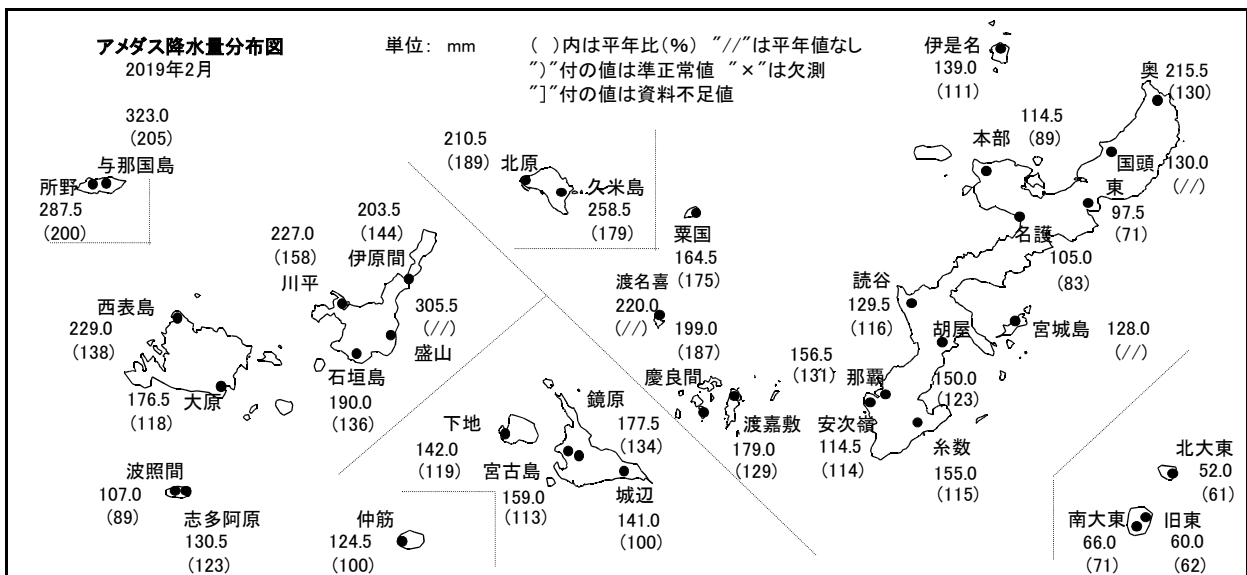
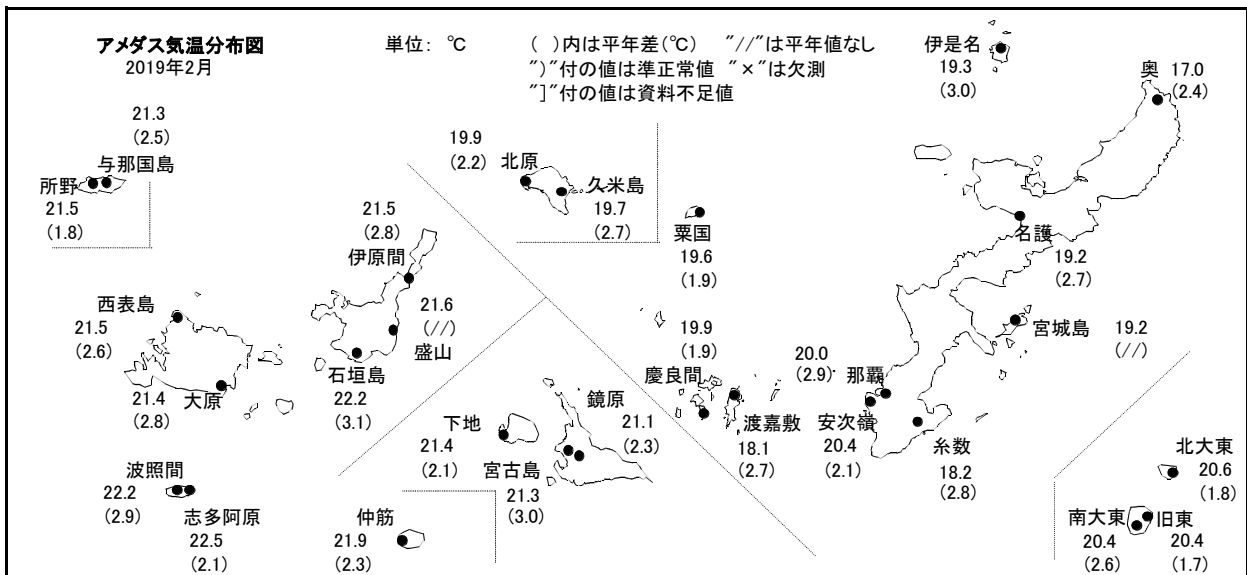


与那国島





# アメダス(月平均気温・月降水量・月間日照時間)分布図



・ 統計期間が短いため、平年値が無い地点があります。

極値・順位値更新表（月）

地上気象観測所

2019年2月

地点名	要素	更新した値	観測日（月）	順位	極値（観測日・月）	
与那国島	日最高気温の高い方から（℃）	27.7*	2019年2月19日	1	27.7	2015年2月26日
宮古島	月平均気温の高い方から（℃）	21.3	2019年2月	1	20.7	2009年2月
西表島	月平均気温の高い方から（℃）	21.5	2019年2月	1	21.2	2009年2月
石垣島	月平均気温の高い方から（℃）	22.2	2019年2月	1	21.9	2009年2月
那覇	月平均気温の高い方から（℃）	20.0	2019年2月	1	19.9	2009年2月
南大東島	月平均気温の高い方から（℃）	20.4	2019年2月	1	20.3	1959年2月
名護	月平均気温の高い方から（℃）	19.2*	2019年2月	1	19.2	2009年2月
与那国島	月平均気温の高い方から（℃）	21.3*	2019年2月	1	21.3	2009年2月
久米島	月平均気温の高い方から（℃）	19.7	2019年2月	2	19.8	2009年2月

注1：日の統計値は1位更新、月の統計値は3位更新まで記載しています。

注2：1位が更新された場合の「極値」欄は、従来の極値とします。

注3：\*印は下位と同値（タイ記録）を意味します。

アメダス観測所

地点名	要素	更新した値	観測日（月）	順位	極値（観測日・月）	
下地	日最大1時間降水量（mm）	31.0	2019年2月28日	1	29	2007年2月22日
渡嘉敷	日最高気温の高い方から（℃）	24.6*	2019年2月19日	1	24.6	2009年2月24日
慶良間	日最高気温の高い方から（℃）	25.7*	2019年2月19日	1	25.7	2009年2月24日
安次嶺	日最高気温の高い方から（℃）	26.6*	2019年2月19日	1	26.6	2010年2月25日
旧東	日最高気温の高い方から（℃）	26.3	2019年2月19日	1	26.0	2009年2月27日
志多阿原	日最高気温の高い方から（℃）	28.3	2019年2月19日	1	28.1*	2010年2月11日
下地	日最高気温の高い方から（℃）	27.5	2019年2月20日	1	27.3	2010年2月27日
所野	日最高気温の高い方から（℃）	27.9	2019年2月20日	1	27.7	2010年2月11日
波照間	日最高気温の高い方から（℃）	28.5	2019年2月20日	1	27.9*	2016年2月14日
志多阿原	日最低気温の高い方から（℃）	23.7	2019年2月19日	1	23.6*	2010年2月26日
下地	日最大10分間降水量（mm）	14.5	2019年2月28日	1	10.0	2015年2月24日
鏡原	日最大10分間降水量（mm）	15.5	2019年2月28日	1	11.0	2014年2月2日
伊是名	月平均気温の高い方から（℃）	19.3	2019年2月	1	19.0	2009年2月
粟国	月平均気温の高い方から（℃）	19.6	2019年2月	1	19.5	2009年2月
北原	月平均気温の高い方から（℃）	19.9	2019年2月	1	19.7	2009年2月
宮城島	月平均気温の高い方から（℃）	19.2*	2019年2月	1	19.2	2009年2月
慶良間	月平均気温の高い方から（℃）	19.9*	2019年2月	1	19.9	2009年2月
安次嶺	月平均気温の高い方から（℃）	20.4	2019年2月	1	20.3	2009年2月
北大東	月平均気温の高い方から（℃）	20.6	2019年2月	1	19.9	2009年2月
旧東	月平均気温の高い方から（℃）	20.4	2019年2月	1	19.9	2009年2月
下地	月平均気温の高い方から（℃）	21.4	2019年2月	1	20.9	2009年2月
鏡原	月平均気温の高い方から（℃）	21.1	2019年2月	1	20.5	2009年2月
仲筋	月平均気温の高い方から（℃）	21.9	2019年2月	1	21.1	2009年2月
伊原間	月平均気温の高い方から（℃）	21.5	2019年2月	1	21.4	2009年2月
所野	月平均気温の高い方から（℃）	21.5*	2019年2月	1	21.5	2009年2月
大原	月平均気温の高い方から（℃）	21.4	2019年2月	1	21.0	2009年2月
波照間	月平均気温の高い方から（℃）	22.2	2019年2月	1	21.8	2009年2月
志多阿原	月平均気温の高い方から（℃）	22.5	2019年2月	1	21.8	2009年2月

注1：日及び月の統計値の1位更新を記載していますが、統計期間10年未満の地点は除いています。

注2：1位が更新された場合の「極値」欄は、従来の極値とします。

注3：\*印は下位と同値（タイ記録）を意味します。

生物季節観測表

2019年2月

観測場所	種別 (代替種目)	現象	本年発現	平年値	昨年発現	発現 平年差	最早日	最晩日
			月 日	月 日	月 日			
(1) 植物								
石垣島	サクラ (ヒカンザクラ)	満開	2月8日	2月5日	2月7日	+3	1月8日	3月2日
那覇	サクラ (ヒカンザクラ)	満開	2月12日	2月4日	1月30日	+8	1月23日	2月19日
南大東島	サクラ (ヒカンザクラ)	満開	2月12日	2月2日	1月29日	+10	1月21日	3月1日
石垣島	ツツジ (タイワンヤマツツジ)	開花	2月28日	2月8日	2月9日	+20	1月4日	3月31日
(2) 動物								
那覇	ウグイス	初鳴	2月21日	2月22日	2月19日	-1	1月30日	3月21日

注：平年差の“-”は発現が平年に比べて早く、“+”は発現が平年に比べて遅いことを示します。

# 冬の天候

2018年12月～2019年2月

## 天候経過

前線や気圧の谷、湿った空気、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で曇りや雨の日が多かったが、高気圧に覆われて晴れの日もあった。

平均気温は、全ての地点（気象官署及び特別地域気象観測所）で3か月平均気温の高い方からの冬としての極値を更新した。地域平均平年差は+1.9℃とかなり高く、統計を開始した1947年以来、冬としては最も高い値を更新した。降水量は、名護と南大東島を除く全ての地点（気象官署及び特別地域気象観測所）で平年を上回り、地域平均平年比は132%と多かった。日照時間の地域平均平年比は90%と平年並だった。

### 平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

【2018年12月～2019年2月】

	気温 (℃)	平年差 (℃)	階級	降水量 (mm)	平年比 (%)	階級	日照時間 (h)	平年比 (%)	階級
那覇	19.5	+1.9	++	359.5	110	0	261.1	88	-
名護	18.8	+1.9	++	302.0	91	0	249.9	83	-
久米島	19.3	+1.9	++	512.5	127	+	191.4	75	--
南大東島	20.1	+1.8	++	275.5	93	0	375.9	105	0
宮古島	20.6	+1.9	++	643.5	159	++	252.0	93	0
石垣島	21.3	+2.1	++	606.5	153	++	262.3	98	0
西表島	20.8	+1.9	++	598.0	122	+	226.8	101	0
与那国島	20.7	+1.7	++	594.0	110	+	171.3	97	0
沖縄地方		+1.9	++		132	+		90	0

- (注) 1. 「階級」の欄の符号は、以下のことを示す。  
 ++:かなり高い(多い)、+:高い(多い)、0:平年並、-:低い(少ない)、--:かなり低い(少ない)
2. 「降水量」欄の—は無降水を示す。
3. 沖縄地方の平年差(比)とは、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の5地点の平年差(比)の平均値を示す。
4. “)”付きの値は準完全値(欠測を含むが許容する資料数を満たす)を意味する。
5. “)”付きの値は資料不足値(欠測を含み許容する資料数を満たさない)を意味する。
6. “X”は欠測を意味する。
7. 表中のデータは気象官署(气象台、特別地域気象観測所)における値である。
8. 平年値の統計期間は1981～2010年である。

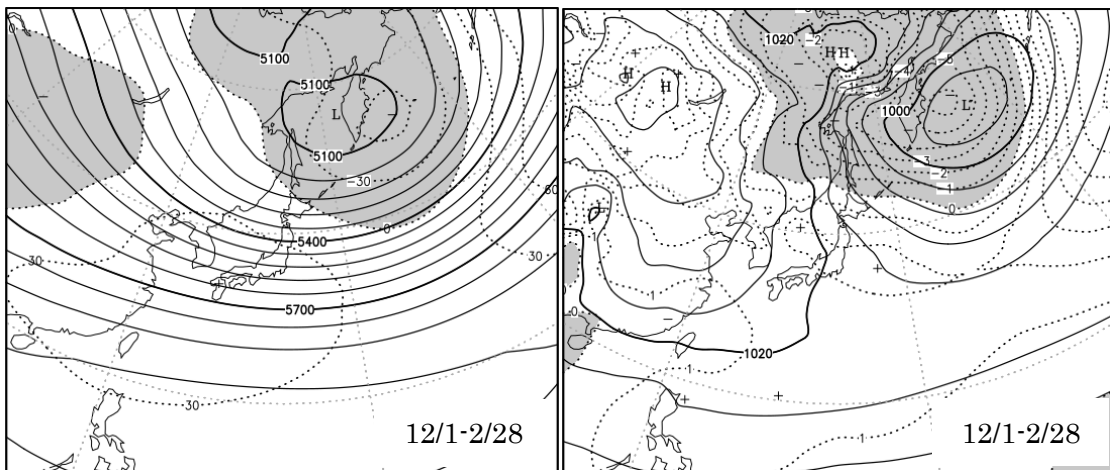
## 冬の大気の流れ

2018年12月～2019年2月

500hPa面の平均高度（左図）は、沖縄付近を中心に平年より高く、沖縄地方は暖かい空気に覆われやすかった。

平均海面気圧（右図）は、日本付近は平年より高かった。特に、沖縄の南では高気圧が強く、沖縄付近には南から暖かい空気が流れ込みやすかった。このため、沖縄地方は記録的な高温となった。

なお、沖縄の南の下層高気圧の強まりには、エルニーニョ現象が関係しているとみられる。



左図 日本付近の500hPa面の平均高度  
等値線の間隔は実況（実線）が60m、  
平年差（破線）が30mである。  
陰影部は高度が平年より低い領域を示す。

右図 日本付近の平均海面気圧  
等値線の間隔は実況（実線）が4hPa、  
平年差（破線）が1hPaである。  
陰影部は気圧が平年より低い領域を示す。

## 沖縄地方の冬（12月～2月）の平均気温と降水量の経年変化

沖縄地方の2018/19年冬（2018年12月～2019年2月）の平均気温の地域平均平年差は+1.93℃であった。1898年の統計開始以降の長期変化傾向（赤色の実線）は、100年間に0.95℃の割合で上昇している（図1）。

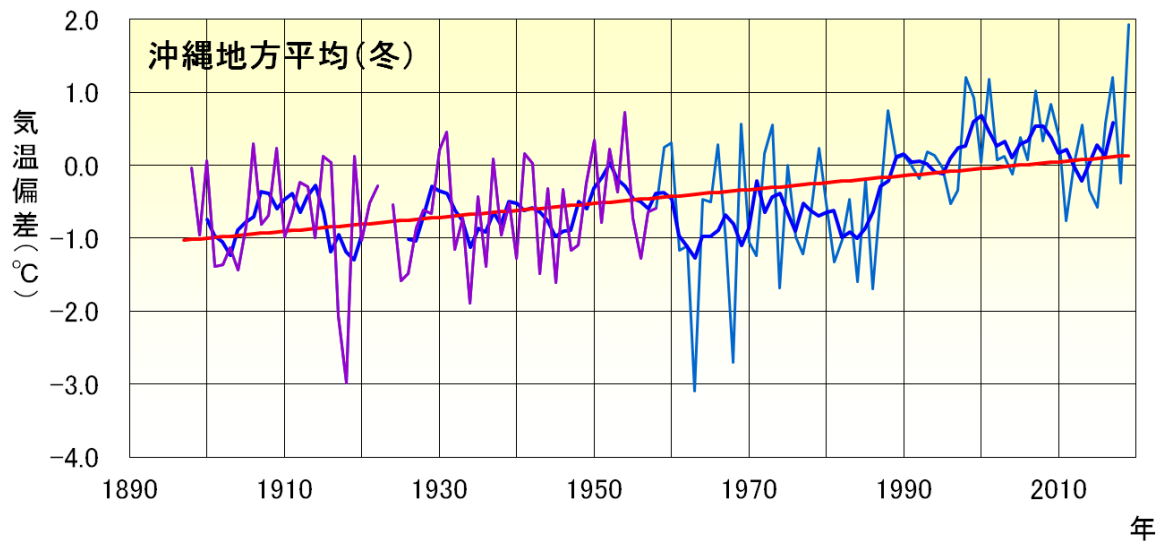


図1 沖縄地方の冬（12月～2月）の平均気温の地域平均平年差の経年変化  
[1898～2019年の122年間]

横軸は西暦〔年〕、縦軸は沖縄地方の平均気温の地域平均平年差〔℃〕を示す。  
水色の折れ線グラフは5地点のデータが揃っている期間、紫色の折れ線グラフは5地点未満の期間、青色の太線は各年の統計値の5年移動平均値、赤色の実線は各年の統計値の長期変化傾向。  
那覇の1927年4月以前は、移転の影響を補正したデータを用いている。  
1923年は那覇観測値欠測。

沖縄地方の 2018/19 年冬（2018 年 12 月～2019 年 2 月）の降水量の地域平均平年差は 128.5mm であった。1897 年の統計開始以降の長期変化傾向（赤色の実線）は、100 年間に 55.4mm の割合で減少している（図 2）。

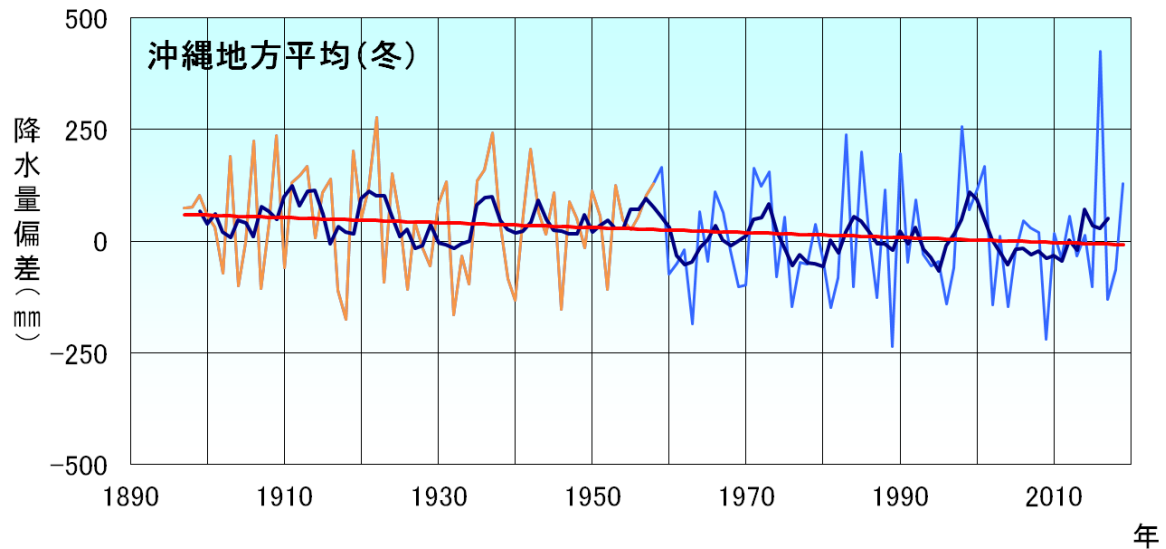


図 2 沖縄地方の冬（12 月～2 月）の降水量の地域平均平年差の経年変化  
[1897 年～2019 年の 123 年間]

横軸は西暦 [年]、縦軸は沖縄地方の降水量の地域平均平年差 [mm] を示す。  
水色の折れ線グラフは 5 地点のデータが揃っている期間、橙色の折れ線グラフは 5 地点未満の期間、青色の太線は各年の統計値の 5 年移動平均値、赤色の実線は各年の統計値の長期変化傾向。

**【注】**

この資料においては、沖縄地方の平均気温と降水量の地域平均平年差は、那覇・久米島・宮古島・石垣島・与那国島の 5 地点より算出している。また、上記 5 地点のうち 2 地点以上で観測値が存在する期間について算出しているため、統計開始は 1897 年からとなる。沖縄地方の平均気温の地域平均平年差は、長期的なトレンドの評価のため、小数第 2 位まで求めている。